

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

10 vol.4



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

10 vol.4

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

職業奉仕月間／米山月間	1
職業奉仕月間によせて	2
米山月間によせて	3
ニコニコキャンプ報告	4
インターアクト海外研修	5
広報委員長会議	6
米山大学交換会	7
米山奨学委員長会議・カウンセラー研修会	8
災害支援プロジェクト報告	9
米山奨学委員会	10
ロータリー財団	11
2011年5月度 会員数・出席報告	12
2011年8月度 会員数・出席報告	13
文庫通信	14
敬弔／お知らせ	



1. 職業奉仕について

RIは、職業奉仕に関する声明の中で、「職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。

クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトに応えることである。」と述べています。

ところで、職業奉仕は英語の Vocational Service を訳したのですが、この Vocation という言葉は“神から授けられた仕事（天職）”という意味を持っています。昨今の企業における事件を見ていると、社会的責務を忘れ、儲かればいい、自分の会社だけ良ければいい等々の職業奉仕の理念を全く理解しない事例が多く見られるようになってきました。

もう一度見つめ直してみてもいいでしょうか。

職業奉仕は、一朝一夕に出来るものではありません。ロータリークラブ誕生から100年を超え、ロータリーの奉仕活動が第二世紀へと進む中で、ロータリークラブおよびロータリアンが高度な道徳的水準を維持し、それを実践することにより、更なる発展が期待出来るものだと確信しております。

是非とも、ロータリークラブとロータリアンは仕事を通じて社会に貢献するためにも、高潔な職業奉仕活動を推進していただきたいと思います。

2. 米山記念奨学事業について

ロータリー米山記念奨学事業は、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給して支援を行う事業で、その運営は民間の奨学財団である（財）ロータリー米山記念奨学会が行っています。設立は1967年、今から約44年前で、これまでに世界119ヶ国、16,389人（2011年7月現在）の外国人留学生を支援しています。

さて、事業そのものの歴史は50年以上前で、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されたことによります。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して3年後、米山梅吉氏が死去してから6年後のことです。

米山記念奨学金の創設の目的は、「日本が再び戦争の過ちを繰り返さない」という誓いと「平和日本」をアピールすることにより、「世界の懸け橋」となることを願ってこの制度が出来上がりました。

また、ロータリー米山奨学金制度の特徴は、経済的支援のみならず、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアも図っていることです。奨学生には毎月1回世話クラブの例会に参加する義務が課せられており、奨学金はそこで手渡しされます。「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い制度として、他団体、行政機関などからも注目されております。

本年度の私の方針としまして、皆様には1人当たり2万円のご寄付をお願いしておりますが、このすばらしい制度が継続するためにも、多くの会員の方々のご支援をお願いいたします。



今年度、岡部Gは地区運営方針の中で4つの強調事項を打ち出されました。

- 1) クラブのサポートと強化
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上
- 4) 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

以上の4つを挙げられました。

その中の 3) 公共イメージと認知度の向上の中で岡部Gは「職業体験事業という形で中高生の若い方々にロータリアンの職場を知ってもらおうと考えています。現在、当地区では出前授業を行っていますが、今年度は中高生の職場体験事業、キャリア教育を考え、この活動を通じて若い人達の将来の目標達成に寄与したいと考えています。」と述べられております。地区の職業奉仕委員会といたしましてもこれを受けまして、まずはキャリア教育について勉強すべく8月20日のクラブ職業奉仕委員長会議で、キャリア教育に対する国の考え方「教育基本法の改正」「学校教育法の改正」「中央教育審議会の答申」などの中でキャリア教育にかかわる部分の勉強会を行いました。その中でキャリア教育とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」と述べられておりました。また「特に非正規雇用者が増加するといった雇用関係の変化や『大学全入時代』が到来する中、子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で意識が見出せず、学習意欲が低下し学習習慣が確立しないといった状況が見られます。今後更に、子どもたちの発達の段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要がある」とも述べられておりました。キャリア教育の一端ではあり

ますが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じました。

では私たちロータリアンに何ができるのでしょうか？皆さんは職業奉仕という考え方の中で自分の職業をいかに奉仕という形に結びつけていけばよいか悩まされることはありませんか？そのひとつのわかりやすい答えがここにあるのではないのでしょうか？それは職場体験学習の受け入れ先になってみるというのはどうでしょうか。各市町村地域によって受け入れ方法はそれぞれあるでしょうし、日数も受け入れ人数も違うことでしょう。また既にロータリーと関係なく受け入れをされている皆さんも数多くいらっしゃると思います。職場体験学習の受け入れとはクラブでどんな受け方ができるのかが始まりではなく、ロータリアンとして個人がまずI serveの考え方のもと職場体験学習の受け入れに対して前向きな考え方を持っていていただき、その機会に遭遇した時にはしっかりと受け入れていただく、そんな方が集まり、はじめてクラブとしての取り組み方法も見えてくるのだと思います。また何もクラブで取り組むからといって必ずしも職業奉仕委員会がその中心にならなければならないものではなく、新世代奉仕や社会奉仕など色々な委員会と共に行うプログラムとしても考えていけるのではないのでしょうか、現にそのような考え方のもとプログラムを実行されているロータリークラブもあるようです。

先にも述べましたし、少しオーバーな表現かも知れませんが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じております。また職場体験学習はどこの地域の学校でも行っていることですので、是非とも職場体験学習の受け入れに興味を持っていただき、実践されることをお願い申し上げます。



私の父の弟、私にとって叔父さんは、アメリカ人にショットガンで頭を撃ち抜かれ、亡くなりました。

それも、お父さん、お母さんの目の前で。

私はこの話を聞いた時、可愛い息子を目の前で殺された、お爺ちゃん、お婆ちゃんはどんなに辛かったか、悲しかったか、恐ろしかったかと思うと共に、心が締めつけられる様な感じがしました。

これは、第二次世界大戦時の沖縄での出来事です。

あの戦争で、多くの悲惨で残酷な物語を小さな島に作ってしまいました。

今、現在の日本でも、東北地方を襲った大地震によって多くの悲惨な家族を作り上げてしまっております。

このような地震や戦争が将来また再びおこる可能性が我々の子供達、孫達の世代であるかもしれません。

いな、我々の世代でも可能性は大いにある訳です。

特に、東海、東南海、南海地震が同時発生した場合、日本沈没の憂き目に合う事も、逃れ難き可能性として存在する訳です。そのような事態に遭遇した時、日本だけでは、いかんともし難いのは火を見るより明らかであります。

そういった未来への危機管理の一環とし世界との心の通った連帯という事が、必要不可欠な事であると思われれます。

我々の米山事業は、そんな未来の安全を担保する一環であるはずで。この様に考えますと、打算で奉仕活動してるかのように感じるのですが、見返りを望まない奉仕でも、必ず何かの良き作用があるはずで。

もちろん、見返りを考えてするものではないと思いますが、世界との友好関係を築くというのは、この複雑怪奇な世界情勢の中にあって一朝一夕に築けるものではないと思いますし、継続的に作り上げて行かねばならないと思います。

その意味においても、米山のような優秀で日本に対する想いを持った人材群を作る事は、必要不可欠な事業かもしれません。

皆さんは如何思われますか？

現在の政治で友好的な関係が築けるのでしょうか？

経済の発展に伴って、真の友情がどれほど作って行けるのでしょうか？

はなはだ、心もとない気がします。

さて、

沖縄の言葉で『けらまー見えしが、まちげー見いらん』というのが有ります。

那覇空港に行かれたら海側に大きな窓が有りますが、その海の彼方に見える島影は慶良間諸島です。

けらまーとはこの慶良間島の事ですが、こんな遠い島は見えるけれど、最も近い睫毛は見えないという意味です。

この言葉の解釈には色々あると思います。

人の事は良く見えるけど、一番身近な自分の事は解らない。

最も身近な家族の事を一番理解してなかったり…

人間近すぎると、かえって見えないもしくは、見なくなる事があると思います。

もっとも近い国、中国や韓国の事を我々はどれほど理解しているのでしょうか？

かつてシンガポールのトップスターである、ディックリーがよく自らを含む多くの東洋人をバナナと揶揄しておりました。これは、バナナは、皮は黄色いけれども、中身は白い。つまり、黄色人種である我々は、黄色い肌に、考え方は全て欧米型だと言うのです。戦後日本人は、脱亜入欧と言って、欧米に学べ続けと頑張ってきました。

お陰で、ジーパンを履きTシャツを着て、ハンバーガーを食べながら、ハリウッド映画を見るような生活を私もしておりました。

正に欧米化の日本人で有ります。そして、やはりお隣、中国の事を全然わかっていませんでした。

でも今、皆さんのすぐ側には、アジアから来た優秀な学生がいるんです。彼等から学ぶべき事も沢山あると思います。ぜひ、この機会を十分活用され、身近な所にも目を向ける機会にさせていただければと思います。

2011～2012年度 少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会

委員長 新庄幸一(枚方RC)

2011～2012年度少年少女ニコニコキャンプは、準備期間の少ない中、ホストである吹田江坂ロータリークラブ、関西大学ローターアクトクラブの皆さんの情熱あふれる運営で、素晴らしい事業となりました。

このプログラムは、世代間の交流の中から、児童には自然への畏敬、団体生活の大切さ、友情の尊さを体感してもらうことを目的に、またローターアクトには青少年リーダーを体験することで、リーダーシップを身に付けていただくことを目的に開催されています。これに加え、今年はニコニコキャンプに、ローターアクターと児童の中間の世代である、インターアクトの皆さんにもサブリーダーとして参加していただき、上下の世代を超えた交流を通して、責任感を持った社会体験をしていただきました。この試みは、今後大きく広がって行くことを願っています。

また、岡部ガバナーより本年の青少年活動委員会の事業には、すべて東日本大震災の復興支援をテーマとするように指示を頂き、ホストクラブの吹田江坂ロータリークラブが、宮城県南三陸歌津小学校の避難所に避難されている皆さんが立ち上げたプロジェクトにより作成されたTシャツを購入され、2日目のプログラムに使用されました。このTシャツは、歌津プロジェクトに賛同した岐阜のTシャツメーカーが無償提供し、購入金額はすべて復興支援に当てられることから、ガバナー方針に合致すると、Tシャツ購入を決定されました。

開校式についての印象は、関西大学のキャンパスを使用されたことで小学生やその保護者にとって、近未来を見学できるいい機会になったのではないのでしょうか。

現地でのプログラムについての報告ですが、カレー作りについては具の大きさで、なかなか炊き上がらないことを子供たちが実感し、準備段階の大切さを感じながらの食事になったと思います。

2日目のオリエンテーリングでは、みんなで考えみんなで協力することの大切さを、学んでくれたと思います。



また陶芸絵付けは、あとからニコニコキャンプの楽しい思い出を呼び起こしてくれるものになると思います。加えて、凧に書いた被災地へのメッセージは、Tシャツの「絆」の文字に記された通り、こころの繋がりとなって被災された方へ届くものと信じております。

夕食時、ロータリアンの皆さんが焼いていただいたBBQを子供たちがおいしそうにほおぼる姿は、このプログラムの疲れを癒してくれるひと時だと感じました。

キャンプファイヤーも、準備時間の少ない中でもよく考えられたスタンツが多く本当に楽しい集いとなりました。何より参加している皆さんが、一つになって盛り上げられたことが、今にも降ってきそうな雨を、追い返したのだと感じました。

最終日の凧揚げでは、被災地へのメッセージをこめた凧が元気よく大空に揚がりました。

この3日間お世話いただいた、舞洲スポーツアイランドロッジ舞洲のスタッフの皆さん、いつも縁の下の力持ちで支えていただいたチームライラの皆さん、プログラム作成から、子供たちの世話までを力いっぱい頑張ってくれた関西大学ローターアクトクラブをはじめ、ローターアクターの皆さん、そしてこのニコニコキャンプを大成功に導いてくださった、庄瀬会長、八橋実行委員長をはじめ、吹田江坂ロータリークラブ会員の皆さん、多くの登録をいただいた、第2660地区内のロータリアンの皆様に、衷心より感謝して報告いたします。

本当にありがとうございました。



2011～2012年度 第2660地区インターアクト 海外研修

インターアクト委員会
委員長 奥田吾朗 (大阪RC)

今年度の海外研修は、8月4日から8日までマレーシアへ行って参りました。参加者は、インターアクトクラブ（以下IAC）の生徒、顧問、そして提唱クラブのロータリアン他41名でした。交流先は、マラッカ州タンピンにあるROTARY OF TAMPIN、同クラブが提唱している2つの学校のIAC、そして現地企業のコクヨ株式会社および現地企業でした。

今年度の海外研修は、奉仕、国際理解、指導力育成の3つの観点の中の特に国際理解と指導力育成に重きをおきました。過去の海外研修は、主に、研修先（国）のIACと奉仕活動を行いながら、親善および国際理解を深めてきました。今年度は、現地IACおよび現地日本企業（RC関係）の協力を仰ぎ、国際人としての素養を身につけてもらうことに重きをおきました。現在の日本とアジアを実感し、これからの日本とアジアを考えるための種を子供たちの思考に蒔く事を目的としました。

具体的には、テーマとして「自分を知る。日本を知る。相手を知る。アジアを知る。」を置き、次の2点を上記のテーマに沿って活動しました。

1. 現地の日本企業との交流。中から見ていた日本と外から見た日本（同様にマレーシア）について話をさせていただき、意見交換をしました。現地日本企業が肌で感じていることを聞くことが出来ました。また、工場の見学もしました。
2. 現地のIACとの交流。以下の点について準備し、英語でプレゼンテーションを行いました。
 - ①自分の国の誇れるところ、自慢できること、喜べること
 - ②自分の国の悲しむべきところ、恥じるところ、改善すべきところ
 - ③④相手の国について同様プレゼンテーション終了後、自由に意見交換をする場が設けられ、活発な意見交換が行われま

した。

以上が大きな流れでしたが、日を追って振り返りますと、初日、結団式にて岡部ガバナー、小山八尾RC会長からご挨拶をいただき、無事出発いたしました。クアラルンプールの国際空港から一路バスにて1時間半移動し、宿泊先であるタンピンのリゾート施設に到着しました。この施設は、タンピンRCの方の関係施設で、費用から施設利用まで様々な面でお世話になりました。

2日目は、日本企業を訪問し、現地のスタッフと一緒に食堂の食事をいただきました。ただし、ちょうど断食の時期と重なっていたためイスラム教徒の人の食事は出来ませんでした。午後からは、マラッカ海峡を含め、マラッカの観光地を見学しました。

3日目は、午前、マレーシアの企業を訪問。そして、午後、現地IACを訪問し、前述した意見交換会およびウエルカムパーティーに出席しました。パーティーでは、岡部ガバナーからの親書を渡し、バナーの交換を行うと共に生徒たちは、それぞれに準備していたパフォーマンスを披露しました。予定時間をオーバーするほど会は盛り上がり、生徒たちは、マレーシアと日本の交流の架け橋の土台をしっかりと築いていました。

最終日は、クアラルンプールへ移動し、観光の後、日本への帰路につきました。

総じて、十分に注意はしましたが、数名お腹の調子が悪くなりましたが、美味しい食事と素晴らしい天候、また、先方の心温まるホスピタリティーに恵まれ、貴重な研修となりました。

最後になりましたが、同行された先生方とロータリアンに感謝すると共に、この研修を支えていただいている各RCおよび地区の各位に心から御礼申し上げます。



猛暑の中、汗だくになりながら、朝早くからお集まり頂き、2011年7月23日（土）9時半から、大阪薬業年金会館において、広報委員長会議を開催させて頂きました。

昨年度ですが、テレビ大阪との共同制作で、今年2月にインドで実際に行った「ポリオワクチン接種」の活動を基に、ポリオ撲滅のための番組を制作してまいりました。これが完成し、「感染症ポリオ 残り1%の闘い」という番組で、さる7月18日（月）に放映されました。

地区広報委員会として、ロータリー活動の實際を、このような放送が出来るまでに至ったことは、長年培ってきた地区の会員皆様のご理解と、ご協力の賜でございます。改めて感謝申し上げます。広報委員会としては、この番組を、DVDに複製して、日本全国の各ガバナー事務所に送らせて頂きました。また当日、ご参加頂きました各クラブ委員長様にもお持ち帰り頂き、各クラブにおいて、ご覧頂き、会員増強その他のツールとして、お役立て頂きたく存じます。

当日、9時前から、この番組DVDを、会議場にて上映させて頂きました。9時半から会議が始まり、岡部泰鑑ガバナーの挨拶の後、委員長、今年度の地区広報の予定について、一通り説明させて頂きました。

基本的には、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」という方針の下、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートさせて頂くことと存じます。この為に、

- ①各クラブのホームページを充実させて頂くこと、
- ②東日本大震災関連の記事を掲載するために、各クラブから、原稿その他を、お送り頂きたいこと、また、
- ③マスコミを通じた広報の体制を今年度も継続していくことなど、説明させて頂きました。

また今年度は、第2660地区において、岡部ガバナー提案で、新しいロータリークラブを創立されることになり、その準備状況について、委員長より、

説明させて頂きました。

次にマスコミ関連で、ここ数年お世話になっている産経関西の3名の講師の方をお招きして、広報活動全般について、講演をして頂きました。

まずは、地区から産経関西への窓口としてお世話になる横山教生（よこやまのりお）様から、記事の流れを全般的に説明して頂き、各クラブへ、記事の提供を呼びかけて頂きました。

次に、産経新聞総合企画室の岡崎秀俊（おかざきひでとし）様から、広報の基となる記事そのものの書き方や、ネット社会における広報活動のあり方についての、講演を頂きました。

当日、ご参加頂きました各クラブ広報委員長の皆様には、日頃、インターネットには、あまり接しておられない方もいらっしゃいましたが、マスコミ業界の中心におられる方の講演により、ネット社会に対するご理解がさらに深まったものと存じます。

そして、産経新聞総合企画室長の田所龍一（たどころりゅういち）様から、広報活動の基本部分を、講演して頂きました。田所様は、トラ番記者として、阪神タイガースの記事を通じて、長年にわたり、マスコミ業界の中でご苦労なされてこられた方で、自らをアピールする事の難しさを、お話し頂きました。

以上の講演の後、質疑応答があり、昼前に、暑い委員長会議を無事に終えることができました。

ロータリーの広報の目的が、いくつか書かれている中で、最も大事な広報は、「クラブのロータリアン一人ひとりが、自らロータリーを地域社会に正しく伝えること」という言葉で表わされています。

各クラブの委員長様には、猛暑の中、委員長会議にご参加頂きましたことに感謝申し上げますとともに、自クラブでの広報活動の一助となれば、幸いです。そして、各クラブが、奉仕活動を通じて、地域社会に、さらに深く根ざしていられる事を期待しております。



米山奨学委員会 大学/地区情報交換会プログラム

米山奨学委員会

委員 近藤菜穂子 (大阪ネクスト RC)

日時：2011年7月29日(金) 15:00~17:00

場所：ガバナー事務所会議室

参加者：武島委員長、田中副委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、有竹、西邨、榊原、福田、近藤、各委員

大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、追手門学院大学、大阪経済大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、関西大学、関西医科大学、関西外国語大学、近畿大学、摂南大学、梅花女子大学、相愛大学、大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー

7月29日、地区米山奨学委員会と大学等との地区懇談会をガバナー事務所会議室で開催致しました。2012年度の米山奨学生を選考するにあたり、24の指定校（5校は欠席）の担当者に御出席いただきました。

米山記念奨学事業の使命とは、将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものになります。この重要な使命をお伝えする大切な情報交換会であります。有竹委員の司会のもと、武島委員長から参加いただいている各大学の担当者より自己紹介と現状についてお話いただきました。

各大学の担当者からは「ロータリアンからの支援を楽しみにしている」「米山奨学事業に沿った留学生を送りたい」「ロータリーの求めている奨学生像を詳しく知りたい」など積極的な意見が出ていました。

そのようなご意見にお答えする意味も含めて、ロータリークラブ、米山奨学制度について田中副委員長よ



りDVDやPower pointを用いて説明がありました。

また、質疑応答では事前に大学からのアンケートに基づきQ&A形式で資料としてお渡し、さらに理解を深めていただきました。特に奨学生の選考として大切にしている点は、ロータリークラブの考え方を理解し奉仕の精神を持っていただきたいこと。いくら学業成績が良く素晴らしい研究をしている学生でも金銭的支援だけを目的にせず、日本と友好的な関係を築くことに関心をもっていただき、ロータリーの活動・運動を理解しようという前向きな姿勢のある奨学生を望んでいるなど具体的に記載されていました。

最後に武島委員長より担当者の方々に、「留学生と直接関わりあうことができる皆様方なので、その学生がどのように変わっていき、成長していく過程を一緒に楽しんでいただきたい。その醍醐味を味わうことができます。私どもと一緒に米山奨学生を育てていきましょう。」と結ばれました。

大学側同士の情報交換も活発におこなわれて、地区米山奨学委員会にとっても大変貴重で有意義な懇談会となりました。



米山奨学委員長会議および カウンセラー研修会

米山奨学委員会

委員 小山 義之 (大阪鶴見RC)

日時：2011年7月30日

場所：大阪薬業年金会館 301号室

参加者：ガバナー 岡部 泰鑑
米山担当顧問パスト・ガバナー 若林 紀男
IM3組ガバナー補佐 三村雄太郎
地区米山奨学委員会委員長 武島 秀吉
地区米山奨学委員会副委員長 吉田 悦治
田中 真人
西谷 雅之

地区米山奨学委員会委員

各クラブ米山奨学委員 40名 (含代理)

カウンセラー 25名

参加者計 97名

2011年度米山奨学委員長会議及びカウンセラー研修会は、7月30日10時より、大阪薬業年金会館で97名のご出席を頂いて開催されました。吉田米山奨学委員会副委員長の司会進行により、来賓紹介及び資料確認に続き、岡部ガバナーの挨拶があり、「米山奨学制度は独特の奨学制度であり、我々ロータリアンは米山奨学生と交わる中で教わることが多い。大事なのは支援するのではなく、互いに交わることである。」とのお話を頂きました。

続いて、米山奨学委員会担当顧問の若林パスト・ガバナーより、「米山奨学会の今後の展望」についてお話を頂き、「今後米山奨学生の採用方法を従来の既に日本に留学している学生の他、外国で日本留学の決まっている人の中からも採用することを検討している。今回の震災・原発事故により、米山奨学生の一部が一時帰国したが、既に全員日本に戻ってきている。米山財団は公益財団法人として認定された」等のお話を頂きました。

次に、武島委員長より、今年度の地区米山奨学委員会活動方針についての報告があり、「米山奨学制度の特徴はカウンセラー制度にあり、カウンセラーの皆様には是非しっかりと奨学生を育てて頂きたい。

各クラブの米山奨学委員の皆様には、色々と工夫して楽しく寄付金を集めて頂きたい。地震災害等が発生した際には、米山事業は未来の危機管理の一環として、世界との心の通った連帯により、安全を担保することができるのではないか。」とのお話を頂きました。

続いて、各クラブの委員長を5グループ、カウンセラーを3グループにそれぞれ組分けして、それぞれ次のテーマにより約50分間の討論をして頂きました。

- ① ロータリアンの米山奨学事業の理解を深め、寄付金を増やすにはどうすればいいか。
- ② 奨学生の世話で困ったこと、良かったこと。
- ③ カウンセラーを引き受けてみて疑問に思ったこと。

(委員長のグループは①又は②、カウンセラーのグループは②又は③をテーマとする。)

各グループの討論は極めて活発に行われ、討論終了後、各グループリーダーより、内容をまとめて発表して頂きました。

発表後、三村IM3組ガバナー補佐より、「大変熱心な討論により、有意義な研修会であった。」とのご講評を頂きました。

最後に、田中副委員長より、閉会の辞があり、研修会を締め括られました。



災害支援プロジェクト報告(第4回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

前回は8月19日までの経過についてご報告いたしましたが、それ以降下記のような(イ)寄付金受入状況、(ロ)地区基金申請案件承認状況で推移しています。今回特筆すべきは、前年度ガバナー会よりとりあえず地区に返金が72,845,511円(被災地区への支払分を比率で分担後)あり、一時預かっております。

各クラブよりのアンケートの回答は(4)に記載しています。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2011年8月19日～9月14日)

地区クラブ名および友好クラブ名(国名)		備考
守口RC	278,594	
八尾東RC	145,000	
大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
合計	623,594	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況(2011年8月19日～9月14日)

クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	内地区拠出基金(円)
大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
大阪中之島RC	家具備品寄贈	424,725	224,725
	合計		963,845

(2) 現在の地区寄付金残高(9月15日現在) 11,599,925円

(3) ガバナー会からの返金(9月6日返金)預かり金 72,845,511円

(4) ガバナー会への寄付金について(9月22日現在)

ガバナー会から返金されました前年度寄付金72,845,511円の取扱いにつきまして、各クラブのご意向を伺っていますが、9月22日までの回答状況の中で地区災害支援プロジェクトがそのまま利用することを承諾いただいたクラブは29クラブです。なお、無回答のクラブが多数ありますので回答結果の詳細は次月号に掲載いたします。

<ご賛同いただいたクラブ名>

東大阪中央、東大阪東、茨木西、門真、大阪、大阪東、大阪イブニング、大阪城南、大阪城東、大阪北梅田、大阪南、大阪中之島、大阪なにわ、大阪南西、大阪ネクスト、大阪咲洲、大阪西南、大阪心斎橋、大阪東南、千里、摂津、四條畷、吹田江坂、吹田西、高槻、豊中千里、八尾、八尾中央、八尾東

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年7月末	全国寄付金合計額	179,597,819円 (前年度比8.93%減)
"	第2660地区寄付金合計額	8,455,250円 (前年度比5.34%減)
2011年7月末	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2760地区	11,805,000円
	2. 第2770地区	11,604,000円
	3. 第2750地区	10,238,250円
	4. 第2710地区	9,398,200円
	5. 第2660地区	8,455,250円
	6. 第2790地区	8,110,900円
	7. 第2690地区	7,834,705円
	8. 第2590地区	7,479,000円
	9. 第2650地区	7,417,250円
	10. 第2700地区	6,839,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年7月)

氏名	回数	クラブ名
寺西 太一	4回目	東大阪東 RC
宇野 能史	8回目	大阪イブニング RC
北村 譲	5回目	大阪中之島 RC
村橋 義晃	2回目	大阪中之島 RC
長谷川 眞哲	4回目	大阪大淀 RC
畑 守人	1回目	大阪大淀 RC
菊川 起男	4回目	大阪大淀 RC
大石 正守	3回目	大阪大淀 RC
末岡 稔啓	1回目	大阪大淀 RC
原野 圭司	16回目	大阪帝塚山 RC

米山功労法人

次の方に米山功労法人の称号が贈られました。
(2011年7月)

会社名	回数	クラブ名
株式会社 三榮	1回目	大阪城南 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年7月)

クラブ名	回数
大阪帝塚山 RC	79回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

遠越 英行	大阪大淀 RC	7/22
田嶋 也寸志	池田 RC	7/29

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

森 薫生	1回目	大阪大淀 RC	7/22
西尾 誠一郎	2回目	大阪大淀 RC	7/22
篠原 良洋	1回目	大阪大淀 RC	7/22
橋本 稔子	2回目	大阪北梅田 RC	7/30

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2011)

黒河 洋	豊中 RC	7/15
------	-------	------

2011年5月度 会員数・出席報告(修正版)

お詫びと訂正

松本年度月信2010-2011最終号の15ページ、2011年5月度 会員数・出席報告に間違いがありました。
お詫びして訂正いたします。

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	5月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	5月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性										累計	累計						
I M第1組	池田	39	39	3	2	2	0	3	67.62	65.73	I M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	4	77.00	63.00
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	4	89.45	81.61		大阪西	77	76	0	6	7	-1	4	85.62	77.60
	箕面	31	28	1	0	3	-3	3	77.33	72.00		大阪大淀	47	54	0	10	3	7	3	79.61	71.05
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	3	93.65	85.71		大阪リバーサイド	34	36	5	4	2	2	3	91.35	75.97
	豊中	47	46	3	5	6	-1	4	82.40	73.47		大阪西北	56	55	0	2	3	-1	4	86.20	79.35
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	3	73.98	63.62		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	3	85.86	78.25
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	3	62.78	62.78		大阪梅田	43	37	0	1	7	-6	4	79.11	73.22
	豊中千里	38	36	2	1	3	-2	3	90.48	87.53		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	4	80.55	70.73
	小計	273	261	11	11	23	-12		79.71	74.06		大阪ユニバーサルシティ	27	28	3	2	1	1	3	79.49	71.79
													小計	676	692	48	54	38	16		83.76
I M第2組	茨木	24	25	4	2	1	1	3	91.94	82.03	I M第6組	大阪	251	263	0	30	18	12	3	74.09	59.69
	茨木東	42	42	4	2	2	0	3	83.78	67.68		大阪東	117	120	0	7	4	3	3	92.61	75.90
	茨木西	27	29	6	2	0	2	3	89.66	74.71		大阪東淀ちゃやまち	33	35	3	2	0	2	3	83.10	75.01
	千里	43	43	0	1	1	0	4	91.28	76.16		大阪城東	47	50	5	5	2	3	3	78.96	70.87
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	3	94.74	88.16		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	3	91.35	77.77
	摂津	39	41	2	3	1	2	3	83.58	74.96		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	3	83.33	68.76
	吹田	61	61	6	3	3	0	3	96.03	87.71		大阪城北	60	57	2	2	5	-3	3	74.57	73.14
	吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	93.71	81.14		大阪天満橋	68	67	0	1	2	-1	3	90.00	83.45
	吹田西	48	49	1	2	1	1	4	100.00	92.27		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	80.56	76.11
	高槻	44	47	4	10	7	3	3	93.87	77.74		大阪淀川	33	35	3	3	1	2	3	88.48	64.51
高槻東	39	39	0	0	0	0	4	94.40	99.27	新大阪	37	37	0	2	2	0	3	82.88	74.77		
高槻西	24	23	0	0	1	-1	3	95.00	79.71	小計	748	767	17	57	38	19		83.63	72.73		
小計	458	465	32	26	19	7		92.33	81.80												
I M第3組	大東	44	45	0	1	0	1	4	97.37	94.74	I M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	3	92.86	82.77
	大東中央	30	29	11	1	2	-1	3	79.49	67.91		大阪本町	25	27	2	2	0	2	4	89.17	70.73
	枚方	42	43	0	5	4	1	4	89.31	84.55		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	3	94.12	85.29
	門真	26	32	4	6	0	6	3	94.80	78.13		大阪南	125	138	0	15	2	13	4	83.51	73.89
	交野	28	34	1	6	0	6	3	78.49	78.49		大阪難波	47	44	0	4	7	-3	3	93.49	77.28
	香里園	17	17	0	1	1	0	3	86.28	74.51		大阪なにわ	32	28	2	2	6	-4	3	80.45	73.56
	くずは	56	58	0	5	3	2	3	73.17	64.99		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	2	81.25	78.13
	守口	39	47	3	9	1	8	4	86.62	75.00		大阪西南	89	88	13	7	8	-1	3	98.80	81.59
	守ロイブニング	27	26	4	0	1	-1	3	84.62	76.92		大阪船場	42	41	0	1	2	-1	4	95.00	84.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	91.67	82.75		大阪心斎橋	37	39	0	2	0	2	3	98.25	94.49
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	84.85	84.85	大阪うつぼ	34	36	4	2	0	2	3	90.78	80.66		
小計	360	383	28	37	14	23		86.06	78.44	小計	502	511	29	36	27	9		90.70	80.22		
I M第4組	東大阪	70	67	0	2	5	-3	3	81.78	72.83	I M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	3	83.76	62.18
	東大阪中央	38	39	0	3	2	1	5	78.30	75.34		大阪平野	37	37	3	3	3	0	3	93.64	79.79
	東大阪東	67	65	6	0	2	-2	3	81.60	70.72		大阪イブニング	21	18	5	0	3	-3	3	83.72	67.15
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	3	86.42	60.49		大阪城南	54	56	0	4	2	2	3	98.81	81.45
	東大阪西	37	37	0	0	0	0	4	94.03	65.89		大阪咲洲	19	19	1	1	1	0	3	89.47	70.18
	大阪柏原	30	32	3	3	1	2	4	89.58	89.58		大阪住之江	22	21	0	0	1	-1	3	95.45	60.47
	大阪ネクスト	18	17	6	0	1	-1	3	53.00	35.33		大阪住吉	28	28	3	1	1	0	3	89.49	81.47
	八尾	84	80	0	0	4	-4	3	98.52	73.24		大阪天王寺	60	62	0	4	2	2	4	93.96	82.75
	八尾中央	21	22	3	1	0	1	4	89.39	81.06		大阪東南	52	52	0	3	3	0	4	92.31	64.43
	八尾東	26	24	3	1	3	-2	3	79.32	77.54		小計	308	307	13	16	17	-1		91.18	72.21
小計	417	410	22	11	18	-7		83.19	70.20												
第5組	大阪中央	57	54	6	2	5	-3	3	90.74	72.82	合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	4	86.29	79.84	84	3742	3796	200	248	194	54		86.3	75.4	
	大阪北	175	189	0	20	6	14	3	83.25	71.64											

2011年8月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	8月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会		ホームクラブ		I M組	クラブ名	7月期初 会員数	8月 月末 会員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会		ホームクラブ	
			全員	女性				累計	累計	数	出席率				出席率	数				出席率	数	出席率	
I M第1組	池田	38	38	3	0	0	0	4	69.29	68.57	I M第5組	大阪中央	50	52	5	2	0	2	3	91.67	79.98		
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	4	83.19	72.98		大阪堂島	30	30	1	0	0	0	4	88.33	86.66		
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	91.01	86.14		大阪北	189	191	0	2	0	2	3	83.78	70.27		
	箕面中央	23	22	0	0	1	-1	3	88.90	87.30		大阪北梅田	49	50	3	1	0	1	3	78.67	72.67		
	豊中	44	45	3	1	0	1	4	84.64	78.10		大阪西	71	71	0	1	1	0	4	91.43	81.80		
	豊中南	31	32	1	1	0	1	3	75.58	73.06		大阪大淀	53	57	0	4	0	4	3	86.88	69.38		
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	3	57.89	56.14		大阪リバーサイド	35	36	5	1	0	1	3	91.26	83.48		
	豊中千里	35	36	3	1	0	1	4	92.67	83.16		大阪西北	54	56	0	2	0	2	4	90.20	83.50		
	小計	247	247	12	3	3	0		80.40	75.68		大阪そねざき	34	40	25	6	0	6	4	99.38	90.39		
I M第2組	茨木	26	27	5	1	0	1	4	94.88	85.70	大阪梅田	36	35	0	0	1	-1	4	76.11	66.53			
	茨木東	41	41	4	0	0	0	3	84.89	70.74	大阪梅田東	32	33	0	1	0	1	3	87.87	66.66			
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	94.83	76.72	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	3	84.62	61.54			
	千里	38	37	0	0	1	-1	4	91.45	82.43	小計	661	679	42	20	2	18		87.52	76.07			
	千里メイプル	26	25	2	0	1	-1	3	85.71	72.73	大阪	258	262	0	6	2	4	3	75.19	59.23			
	摂津	38	40	0	2	0	2	3	95.41	82.39	大阪東	117	122	0	5	0	5	3	91.78	78.93			
	吹田	61	61	6	0	0	0	3	96.47	87.88	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	4	83.64	76.77			
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	3	98.25	79.74	大阪城東	47	47	5	0	0	0	3	87.88	82.57			
	吹田西	48	48	1	0	0	0	4	100.00	91.96	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	3	92.58	83.94			
	高槻	45	45	4	0	0	0	4	93.00	85.34	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	3	84.59	76.25			
	高槻東	39	39	0	0	0	0	3	95.10	95.10	大阪城北	55	55	2	0	0	0	4	76.75	76.25			
	高槻西	23	23	0	0	0	0	4	100.00	73.91	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	3	87.14	83.26			
	小計	453	455	31	4	2	2		94.17	82.05	大阪鶴見	32	34	0	2	0	2	4	86.88	82.22			
I M第3組	大東	43	44	0	1	0	1	4	100.00	88.40	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	3	93.13	81.46			
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	4	89.59	79.02	新大阪	35	36	0	1	0	1	4	78.48	72.92			
	枚方	41	41	0	0	0	0	4	97.98	86.49	小計	741	754	16	15	2	13		85.28	77.62			
	門真	30	33	4	3	0	3	3	87.88	80.81	大阪フレンド	12	17	3	5	0	5	4	93.75	76.25			
	交野	34	33	1	0	1	-1	2	91.00	82.13	大阪本町	26	26	2	0	0	0	5	90.45	72.30			
	香里園	17	17	0	0	0	0	4	89.71	85.30	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	3	86.87	74.75			
	くずは	56	57	0	1	0	1	4	77.57	70.30	大阪南	132	136	0	4	0	4	4	84.15	73.41			
	守口	44	44	3	0	0	0	4	80.90	73.38	大阪難波	44	44	0	0	0	0	3	90.97	74.24			
	守ロイブニング	26	26	4	1	1	0	3	92.31	88.46	大阪なにわ	28	28	2	0	0	0	3	85.57	81.96			
	寝屋川	39	39	5	0	0	0	3	94.74	87.72	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	94.49	87.31			
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	76.52	72.16	大阪西南	86	92	15	6	0	6	4	98.87	77.17			
	小計	370	374	27	7	3	4		88.93	81.29	大阪船場	41	41	0	0	0	0	4	88.00	82.00			
	I M第4組	東大阪	66	65	0	0	1	-1	4	91.37	81.47	大阪心斎橋	38	38	0	0	0	0	3	93.76	83.00		
東大阪中央		36	36	0	0	0	0	4	91.35	85.04	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	96.83	90.91			
東大阪東		64	63	6	0	1	-1	3	82.16	71.62	小計	490	506	29	16	0	16		91.25	79.39			
東大阪みどり		27	28	1	1	0	1	3	81.00	58.30	大阪平野	37	37	3	0	0	0	3	96.37	80.05			
東大阪西		35	35	0	0	0	0	4	96.61	67.22	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	3	84.07	78.06			
大阪柏原		30	30	3	0	0	0	4	93.36	91.44	大阪城南	55	55	0	0	0	0	3	100.00	88.63			
大阪ネクスト		17	17	6	0	0	0	3	65.00	45.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	86.84	71.05			
八尾		73	74	0	1	0	1	4	96.96	58.62	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	90.34	80.26			
八尾中央		19	18	0	0	1	-1	4	84.74	78.86	大阪帝塚山	58	60	4	2	0	2	4	83.43	71.13			
八尾東		23	23	3	0	0	0	3	88.89	77.78	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	92.00	69.00			
小計		390	389	19	2	3	-1		87.14	71.54	小計	295	298	12	3	0	3		90.44	76.88			
合計		クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会者 数	退会者 数	増減		平均 出席率	平均 出席率		クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会者 数	退会者 数	増減		平均 出席率	平均 出席率	
		82	3647	3702	188	70	15	55		88.1	77.6												

文庫通信 (288号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信と新着文献より

- ◎「『現代社会とロータリー』ークラブと会員はどうあるべきか」 上野 操
2011 1p (D.2580月信)
- ◎「ロータリーの綱領について」 川野正久 2011 2p (D.2590月信)
- ◎「『親睦と奉仕の調和』ロータリー思想の原点」 織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「『利己と利他の調和』の哲学ー『東洋の実業倫理』」 亀井義弘 2011 2p (D.2670月信)
- ◎「自他の関係と奉仕」 桑月 心 2011 1p (D.2630月信)
- ◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動をしよう『親睦活動月間を考える』」
崎山武夫 2011 1p (D.2610月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「わかりやすいロータリー 改訂第4版」 D.2650 2011 70p
[申込先：瀨上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「奉仕の原則と保全の法則（1929年出版）」 アーサー・F・シェルドン著 田中 毅訳
2011 103p [申込先：田中 毅 FAX(06)6491-9899]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南川 淳之祐 会員

(箕面RC)

2011年7月21日逝去(享年70歳)

会長、幹事、情報・規定委員長、
国際奉仕委員長、会計

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

十家 和弘 会員

(池田RC)

2011年9月9日逝去(享年65歳)

米山功労者(マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

● **ロン・バートン氏、2013-14年度RI会長に**
米国オクラホマ州、ノーマン・ロータリー・クラブのロンD.バートン氏が、指名委員会により2013-14年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミネーとなります。

● **マッチング・グラント、地区補助金の申請**
ロータリー財団では現在、マッチング・グラントおよび地区補助金の申請を受け付けています。申請受付期間は、2011年7月1日～2012年3月31日、承認審査期間は、2011年8月1日～2012年5月15日となっています。財団管理委員会は新年度のマッチング・グラント用に2,150万ドルの国際財団活動資金(WF)を配分しています。2011年10月～2012年3月に申請を提出していただくと、最も迅速な処理が受けられます。
(ロータリーの友9月号より)

● **RI ツイッター日本語版**
国際ロータリー公式ツイッター日本語版が始まりましたので、ぜひフォローしてください。
www.twitter.com/rotaryjapan
(ロータリーの友9月号より)

● **広報誌 ROTARY**
今年度も、一般向け、会員勧誘用の2つの広報誌を改訂し制作。ご注文は、ロータリーの友事務所まで。(ロータリーの友9月号より)

● **茨木東RC 新しいホームページアドレス**
茨木東RCのホームページが新しくなりましたので、お知らせ致します。
<http://ibaraki-east-rc.org/>

● **新クラブ設立の状況**
新クラブ設立調査書が国際ロータリー日本事務局

に受理されました。10月4日の会員候補者との初会合で、「仮クラブ」発足の宣言を行う予定です。

● **地区大会へのお誘い**

地区大会委員長 光信 昌明(大阪城南RC)
本年度の地区テーマは、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。

- ① 今年度大会の特徴として、「ロータリークラブの大会」であることに着目して構成しました。
- ② 第一日目「見直しを進める」ために、第2680地区パスト・ガバナーの深川氏による「ロータリーの原点」の受講や、「理想の米山奨学生像」を探り、また新入会員には、若林パスト・ガバナーの研修を受けていただきます。
- ③ 第二日目「新たな第一歩を踏み出していただく」一助として、RI研修リーダーの中村靖治(やすはる)RI会長代理のRI現況報告や京都大学大学院の中西輝政教授の講演を聞いていただきます。
- ④ RI会長代理歓迎晩餐会は、関西室内楽協会のメンバーによる演奏などを楽しみ、歓迎の意を尽くしたいと思います。
- ⑤ 家族の集いは、大阪歴史博物館を訪れ、笑いながら楽しく大阪について学んでいただけるよう工夫しております。
- ⑥ 友愛の広場は、一日目は会員相互の親睦を中心にし、二日目は地区委員会活動の報告を中心にしております。特に地区広報委員会の活動は、NHK大阪ホール1階を使用して、一般の方の目に触れる形で、広報活動をしていただきます。
- ⑦ 本年度は東日本大震災発生に鑑みて、大きなエンターテイメントを控えました。
- ⑧ 11月11日(金)は、上本町のシェラトン都ホテル大阪、翌12日(土)は、谷町四丁目のNHK大阪ホールで、お待ちしております。

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

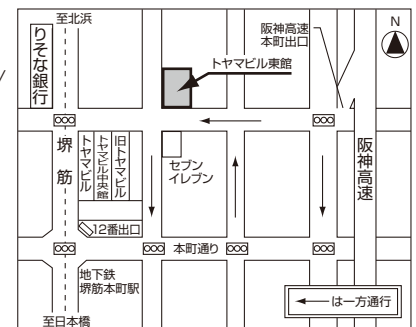
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp